**綱領一部改定案についての中央委員会報告（レジメ）**

**幹部会委員長　志位　和夫**

**一、綱領一部改定の意義――世界情勢論にとどまらず綱領全体の生命力を豊かに発展させた**

**綱領が照らし出す日本変革の道こそが、世界の本流にたったものであることを明らかに**

**日本のたたかいを、世界の流れの中に位置づけて発展させ、国際連帯を強める力に**

**中国に対する認識の見直しは、綱領全体の組み立ての見直しにつながった**

**二、「社会主義をめざす新しい探究が開始……」の削除について**

**八中総以降の動きにかかわって――二つの問題について**

**・東シナ海における覇権主義的行動のエスカレート**

**・香港における人権侵害――人権問題は内政問題でなく国際問題**

**全党討論で出された疑問、質問について**

**・「賛成だがもっと早ければ」――十分に慎重に事実にそくしてくだした結論**

**・「中国はどういう経済体制とみているか」――内政問題であり判断を公にしない**

**・「なぜこうした誤りが起こったか」――中国自身が自戒していた歴史的条件**

**・「今後の中国の政権党との関係は」――関係は維持し、可能な協力の努力は続ける**

**今回の綱領改定の意義、中国とどう向き合うかについて**

**・今回の綱領一部改定の意義――半世紀余のたたかいの歴史的経験を踏まえたもの**

**・中国とどう向き合うか――三つの点について**

**三、二一世紀の世界をどうとらえるか（１）――「世界の構造変化」が生きた力を発揮**

**「核兵器のない世界」にかかわって――ローマ教皇の来日と発言**

**・ローマ教皇の長崎と広島での発言を強く歓迎する**

**・「世界の構造変化」がローマ教皇の発言にも反映している**

**・核兵器禁止条約にサインする政府をつくろう**

**ジェンダー平等について――全党討論をふまえて**

**・ジェンダーとは何か、男女平等と違うのか**

**・日本の著しい遅れの原因はどこにあるのか**

**・日本共産党としてどういう姿勢でのぞむか――学び、自己改革する努力を**

**四、二一世紀の世界をどうとらえるか（２）――世界資本主義の諸矛盾**

**貧富の格差拡大と地球規模の気候変動――どういう姿勢で立ち向かうか**

**・貧富の格差が空前の広がりを示すもと、「社会主義」の新たな形での「復権」が**

**・地球規模の気候変動――非常事態に人類は直面している**

**・この日本から、世界に連帯して、気候変動の抑制をもとめる緊急の行動を**

**・気候変動の打開の道は「社会主義の理想を現代に適合させること」（米有力誌）**

**帝国主義と覇権主義――一部改定案と現代の世界について**

**・トランプ政権のもと帝国主義の特徴はどうあらわれているか**

**・アメリカと他の大国との覇権争い――どんな国であれ覇権主義を許さない**

**社会主義への前進は、世界史の不可避的な発展方向**

**五、発達した資本主義国での社会主義的変革の世界的意義について**

**「発達した資本主義国での社会変革は、社会主義・共産主義への大道」という規定について**

**・なぜ「大道」とのべたか――未来社会を建設するために必要な前提がすでに成熟**

**・資本主義の発達が遅れた国における社会主義的変革の困難性について**

**・一つの世界史的な「割り切り」をおこなった**

**今のたたかいは未来社会へと地続きでつながっている**

**・資本主義の発展が必然的につくりだす要素**

**・人民のたたかいによって初めて現実のものとなる要素**

**発達した資本主義国における社会主義的変革の「特別の困難性」とは**